

2022年2月20日 午前礼拝  
「福音を語ると悪魔の妨害に遭う」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】使徒 14:1~7

- 1 イコニオムでも、ふたりは連れ立ってユダヤ人の会堂にはいり、話をすると、ユダヤ人もギリシヤ人も大ぜいの人々が信仰にはいった。
- 2 しかし、信じようとしなないユダヤ人たちは、異邦人たちをそそのかして、兄弟たちに対し悪意を抱かせた。
- 3 それでも、ふたりは長らく滞在し、主によって大胆に語った。主は、彼らの手にしるしと不思議なわざを行なわせ、御恵みのことばの証明をされた。
- 4 ところが、町の人々は二派に分かれ、ある者はユダヤ人の側につき、ある者は使徒たちの側についた。
- 5 異邦人とユダヤ人が彼らの指導者たちといっしょになって、使徒たちをはずかしめて、石打ちにしようと企てたとき、
- 6 ふたりはそれを知って、ルカオニヤの町であるルステラとデルベ、およびその付近の地方に難を避け、
- 7 そこで福音の宣教を続けた。

## 【説教要約】

使徒 14:1, イコニオムでも、ふたりは連れ立ってユダヤ人の会堂にはいり、話をすると、ユダヤ人もギリシヤ人も大ぜいの人が信仰にはいった。



ユダヤ人の会堂=シナゴグ、  
ユダヤ人が 10 人集まれば、献金して会堂を建てます。パウロは福音を語っています。

マタイ 26:63, しかし、イエスは黙っておられた。それで、大祭司はイエスに言った。「私は、生ける神によって、あなたに命じます。あなたは神の子キリストなのか、どうか。その答えを言いなさい。」

マタイ 26:64, イエスは彼に言われた。「あなたの言うとおりで。なお、あなたがたに言うておきますが、今からのち、人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見るようになります。」

マタイ 26:65, すると、大祭司は、自分の衣を引き裂いて言った。「神への冒瀆だ。これでもまだ、証人が必要でしょうか。あなたがたは、今、神をけがすことばを聞いたのです。

マタイ 26:66, どう考えますか。」彼らは答えて、「彼は死刑に当たる。」と言った。

使徒 13:29, こうして、イエスについて書いてあることを全部成し終えて後、イエスを十字架から取り降ろして墓の中に納めました。

使徒 13:30, しかし、神はこの方を死者の中からよみがえらせたのです。

パウロは蘇られたイエス様にお会いした張本人です。張本人がメッセージをするので説得力があるのです。ユダヤ人もギリシヤ人も大勢の人が信仰に入ったのは当然です。

私の娘の愛からのラインで、「友達がエジプト人の牧師と伝道に行き、福音をシンプルに語ったら 2 人の人が信仰告白に導かれた」とラインしてきました、今でも御霊に導かれた人が福音を語ると、信仰告白に導かれることを聴くと大きな慰めです。

使徒 14:2, しかし、信じようとしないうダヤ人たちは、異邦人たちをそそのかして、兄弟たちに対し悪意を抱かせた。

悪魔は蘇られたイエス様にお会いしたパウロにも向かってくるのです。悪魔はイエス様にも向かってくるのです。

マタイ 4:3, すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」

マタイ 4:4, イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。』と書いてある。」

マタイ 4:5, すると、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、マタイ 4:6, 言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる。』と書いてありますから。」

マタイ 4:7, イエスは言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない。』とも書いてある。」

マタイ 4:8, 今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、

マタイ 4:9, 言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」

マタイ 4:10, イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ。』と書いてある。」

マタイ 4:11, すると悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが近づいて来て仕えた。悪魔はイエスさまにも向かってくるのです。

使徒 14:3, それでも、ふたりは長らく滞在し、主によって大胆に語った。主は、彼らの手にしるしと不思議なわざを行なわせ、御恵みのことばの証明をされた。

パウロは悪魔の妨害に負けていません。

使徒 14:5, 異邦人とユダヤ人が彼らの指導者たちといっしょになって、使徒たちをはずかしめて、石打ちにしようと企てたとき、

悪魔の手段は相手を殺すことです。イエス様でさえも十字架につけて殺しました。しかしイエス様は死人の中から三日目に蘇りました。ステパノも石で打ち殺しました。

使徒 14:6, ふたりはそれを知って、ルカオニヤの町であるルスセラとデルベ、およびその付近の地方に難を避け、

聖霊の導きによってパウロとバルナバは退きました。

使徒 14:8, ルステラでのことであるが、ある足のきかない人がすわっていた。彼は生まれながらの足なえで、歩いたことがなかった。

使徒 14:9, この人がパウロの話すことに耳を傾けていた。パウロは彼に目を留め、いやされる信仰があるのを見て、

パウロはどのようにして彼に癒される信仰があるのがわかったのでしょうか。

ヨハネ 14:26, しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

聖霊様が教えたのです。

使徒 14:10, 大声で、「自分の足で、まっすぐに立ちなさい。」と言った。すると彼は飛び上がって、歩き出した。

生まれつき歩けない人が歩きだしたのです。私は85歳で足の筋肉が衰えてきたので、毎日片道20分自転車で足の筋肉を鍛えております。筋肉を鍛えるためには時間がかかります。しかし歩いたことのない人が歩きだしたのです。これは神様にしかできないことです。

人間は自分の頭で考える事しかできないので、バルナバをゼウス、パウロをヘルメスと呼びました。群衆はバルナバとパウロを偶像にしたのです。

使徒 14:11, パウロのしたことを見た群衆は、声を張り上げ、ルカオニヤ語で、「神々が人間の姿をとって、私たちのところにお下りになったのだ。」と言った。

使徒 14:13, すると、町の門の前にあるゼウス神殿の祭司は、雄牛数頭と花飾りを門の前に携えて来て、群衆といっしょに、いけにえをささげようとした。

これは悪魔のすることです。日本でも立派な人が死んだら、すぐ偶像にします。

菅原道真→天神様

平将門→明神様

源義家→八幡様

徳川家康→権現様

乃木大将→乃木神社

豊臣秀吉→豊国神社

明治天皇→明治神宮

明治天皇が生きている時から明治天皇を神様に祭り上げて、若者は戦争に行ったのです。そして敵を殺し自分も戦死したのです。悪魔は天地創造の神様を拝ませないようにしているのです。私たちクリスチャンはもっと悪魔の存在を意識しなければなりません。

使徒 14:15, 言った。「皆さん。どうしてこんなことをするのですか。私達も皆さんと同じ人間です。そして、あなたがたがこのようなむなしいことを捨てて、天と地と海とそこにあるすべてのものをお造りになった生ける神に立ち返るように、福音を宣べ伝えている者たちです。

天と地と海とそこにあるすべてのものをお造りになった生ける神に立ち返るよう、福音を宣べ伝えましょう。と言われても福音をどうやって宣べ伝えてよいかわからないと、宣べ伝えようがないです。私達はできないことを取り上げて、あれも出来ない、これも出来ないと言います。しかし出来ることがあります。

I テサロニケ 5:18, すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。  
まずできることを感謝しましょう。

ルカ 17:11, そのころイエスはエルサレムに上られる途中、サマリヤとガリラヤの境を通られた。

ルカ 17:12, ある村にはいると、十人のらい病人がイエスに出会った。彼らは遠く離れた所に立って、

ルカ 17:13, 声を張り上げて、「イエスさま、先生。どうぞあわれんでください。」と言った。

ルカ 17:14, イエスはこれを見て、言われた。「行きなさい。そして自分を祭司に見せなさい。」彼らは行く途中でいやされた。

ルカ 17:15, そのうちの一人は、自分のいやされたことがわかると、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、

ルカ 17:16, イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。

ルカ 17:17, そこでイエスは言われた。「十人いやされたのではないか。九人はどこにいるのか。」

ルカ 17:18, 神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかには、だれもいないのか。」

10人のうち1人しか感謝しなかったのです。これは私たち一人一人が10感謝すべきことがあったら1つしか感謝していないことを教えているのではないのでしょうか。

感謝を表す英語は「thinks」と「考がえるを表す英語は」「think」の語源が一緒です。これは、哲学者ハイデッカーは「考える」ということは「感謝する」ことだと言っています。イギリスの清教徒教会の壁に「考える」ということは「感謝する」ということだ、と書かれています。考えてみると感謝することはたくさんあります。

### **(1)太陽を造られたこと**

2月の寒い日に1キロ離れたところで1万個のストーブを焚いても暖かく感じません。太陽から地球まで1億5000万キロ離れています。太陽で何万個のストーブを焚いても暖かく感じません。それはストーブでは温度が低すぎるからです。太陽は水素の核融合で燃えています。太陽の核の温度は1500万度です。地球で水素の核融合を起こすためには800万度以上なければなりません。

多くの物理学者が研究していますが、800万度を閉じ込めておく炉をつくる事が出来ないのです。電磁波で何とか800万度を閉じ込める炉を造ろうとしますが、なかなか出来ないのです。太陽は万有引力によって炉が出来ているのです。太陽の核の気圧は3000億気圧です。これが1500万度を閉じ込める炉になっています。神様はなんと素晴らしく太陽を造られたのでしょうか。神様に感謝します。

### **(2)水を造られました。**

人間は水がないと生きてゆけません。私たちは朝から晩まで水を汚します。汚れた水は下水道を通って海に流され、海で蒸留されます。1日に1.4兆トン蒸留されます。世界の人口が72億人として1人あたり20トンの水が使えます。ナイアガラの滝から1時間に流れ落ちる水の量は東京23区が1日に使う水の量だそうです。神様が汚れた水を蒸留してきれいにしてくださらないければ人間は地球上に住むことはできません。神様はなんと素晴らしく水を造られたのでしょうか。神様にどんなに感謝をしても感謝しきれません。

### **(3)空気を造って下さいました。**

空気がないと人間は生きていけません。宇宙ステーションには地球から空気を運んでいます。神様は木を造り、木の葉の葉緑体によって光合成で、人間や動物や車の排気ガスによる二酸化炭素を酸素に変えてくださるのです。人間の科学で木の葉の1枚も造ることが出来ません。私たちは神様に感謝しているのでしょうか。

### **(4)イエスを信じただけで神様の子供として下さいました。**

**Iテサロニケ 5:18, すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。**

私たちは神様から与えられている物を感謝せずに、不平ばかり言っています。これでは神様は祝福してくださらないのではないのでしょうか。神様から与えられたものを感謝しましょう。

**Iコリント 3:16, あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。**

神様がクリスチャンに聖霊様を内住させてくださっています。もっと聖霊様に感謝しましょう。